

## 産業保健を支援する事業の在り方に関する検討会 5.9 ヒヤリング発言要旨

メンタルヘルス対策推進アドバイザー 古山善一  
(事業場訪問支援専門スタッフからの相談対応と情報提供)

## メンタルヘルス対策支援事業の課題について

## 1 現状

都道府県ごとに、事業場を対象とするメンタルヘルス対策の導入の支援をしている。

24 年度実績(集計中)相談件数 13,107 件 個別訪問支援 22,966 件 管理者教育 5,878 件  
利用者の満足度は 21 年度(初年度)の 67.2%から 24 年度の 79.3%へ向上している。

## 2 課題

## ① 継続性のある支援へ

支援の要望は直面している問題の解決から予防まで多岐にわたるが、単年度事業であるため、事業場からの年度を超える支援要請に対応できない。

支援専門家の育成にもマイナス要因となっている。

このため複数年度にわたる支援を可能にすることが必要である。

## ② 点から面の支援へ

事業場からの支援要請を受けての取り組みであるため、個別企業への支援が中心とならざるを得ない。

地域・業界全体を視野に入れた支援を実現するため、労働局・署との連携を一層強化する必要がある。

## ③ 小規模事業場の支援へ

中規模以上の事業場は情報収集が可能であるが、小規模では事業の存在を知らないところも多い。

このため、地域産業保健センターとの情報交換を密にして小規模事業場に事業の利用促進を働きかける必要がある。

以上